

令和 5 年度 小樽市立高等看護学院関係者評価委員会
委員からの意見について

日時：令和 6 年 3 月 27 日（水）10：00～11：00

場所：小樽市立病院 病院管理業務センター2 階大会議室

出席者：小樽協会病院 看護部長 松野 千代美様

小樽市立病院 事務部長 佐々木 真一様

小樽市立高等看護学院同窓会会長 村上 圭子様

小樽市立高等看護学院 事務長 荻原 美貴

〃 副学院長 佐藤 節子

〃 教務主幹 日達 泉

【会議内容】

1) 令和 5 年度の学校評価について

【質問・意見】

・学習環境について

エアコン設置が困難な状況について、学生が体調を崩すのではないかな。

⇒お金の問題だけではなく、小樽市では、小中学校を優先してつける予定となっており、そのほかの部署も困難であった。今後、緩和されるかもしれない。また、時間割の調整を行い後期は 9 月スタートとする。

他の意見として、病院（小樽病院）などの会議室を使用してみるなどの方法はどうかな。

⇒暑さの状況に応じて病院の会議室などを借りることも検討していく。

・自己点検結果について

自己評価について、4.0 以上の項目などについては 5.0 でもよい気がするが、低いことについてはどのようなことが考えられるか。評価者が項目の意図を理解しているのか。

⇒4.0 でも評価としては上がってきており、十分高いと思う。使用している評価表は日本看護学校協議会が作成したものを使用しているが、評価の尺度が適切であるかという指摘も数年前の会議で受けた経緯もあり、別の評価方法について検討する必要がある。また、評価時の状況（時期）によって評価にばらつきがある可能性があるため、評価の時期についても検討をしていく。

・卒業・就業・進学について

卒業・就業・進学の部分が昨年より点数が下がっている（昨年 3.8 → 3.6）が何故かな。

⇒カリキュラム評価をすることがおろそかになっている状況。職員数の不足もあり、管理職が実務にあたり、アンケート調査などに取り組む余裕がない状況が続いている実情がある。次年度は、旧カリキュラムの最終年度であるため評価として実施する必要があると考える。

- ・講師の依頼について

講師の依頼については科目によっては受けてもらえず、難しい状況であるとのことだが、(病院で)対応していない疾患・看護を講義することを求められるのは、講師側も困難に感じているのでは。また、その結果、授業評価に影響するのでは。

⇒外部講師についての授業評価は 3.6~4.0 である。特に病院の専門職の講義はほぼ 4.0 であり、学生の満足度も高い。関係している依頼先の病院については講師選定も苦慮されていると思うが、可能な限りでよいので協力いただきたい。

- ・授業評価について

評価結果は、どのように講師へフィードバックしていくか。

⇒来校時など担当講師へ評価結果のフィードバックを適宜行っていく予定。結果の公表については講師の承諾を得ることが必要なため、今後検討していく。

- ・研究活動について

市内の高校生を対象とした調査研究について取り組まれることは、素晴らしいと思う。市内高校に看護師希望のクラスがあることや、小樽市内で次々と看護学校も閉校予定など、小樽市内として考えなければならない課題がある。市内の病院の活動として、中学生をターゲットとして、3校の学校に赴き、命の授業など行って看護師の希望者を増やそうと取り組んでいる。今回の調査が研究対象者を高校生とする意味等、データベースとして、最近の入学者数なども研究背景に入れて検討してみてもどうか。

⇒いただいたアドバイスをもとに研究計画を練り直し、取り組んでいく。

以上、いただいた意見について改善策を検討するようにいたします。